

令和5年度 1月号

めいか



令和6年1月9日

文京区立明化幼稚園



日本の伝承遊びへの思い

園長 池田 克子

新しい年が始まりました。皆様、どのような年の初めを迎えられましたでしょうか。

今年は、久しぶりに田舎に帰られた方、地方の親戚が遊びに来られた方、静かな東京でゆっくりされた方など、それぞれのお正月を過ごされたことと思います。今年の年始は、地震災害や事故など、心を痛める出来事がありました。この度、被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。そして改めて、それぞれのご家庭が健康で平和な一年を築かれますことを願っております。

さて、3学期になると幼稚園では「こま回し」「凧揚げ」「羽根つき」「かるた」など、いろいろな日本の伝承遊びが行われます。私が小さかった頃は、お正月になると兄弟姉妹やいとこが集まり、みんなで凧揚げやかるたなどをして遊ぶことがお正月の楽しみの一つでもありました。

伝承遊びには昔からいろいろな意味が込められていたようです。こま回しは、こまはまっすぐと芯が通って回り続ける様子から、物事がうまく回ることを願って、また、こまをぶつけ合って競う様子から子どものたくましい成長を願って縁起物と考えられていました。

凧揚げは、「立春の季に空に向くは養生の一つ」といわれ、旧暦のお正月は現在の1月下旬～2月初旬頃、現在の立春頃だったため、立春の時季に空を見上げることは健康に良いとされ、凧を揚げて空を見るという風習が生まれたと言われていました。

お正月の子どもの遊びも時代とともに変化してきているように感じますが、このような遊びを通して、日本の伝承遊びや文化を子どもたちに伝え、これからも大切にしていきたいと思えます。

3学期は、園生活のまとめの時期になります。年長組は修了を、年中・年少組は進級を意識し、これから期待に胸を膨らませていきます。3学期も子どもたちのよりよい成長を図れるよう、保護者の皆様や地域の皆様との連携を大切に教職員一同努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



今年は「辰年」